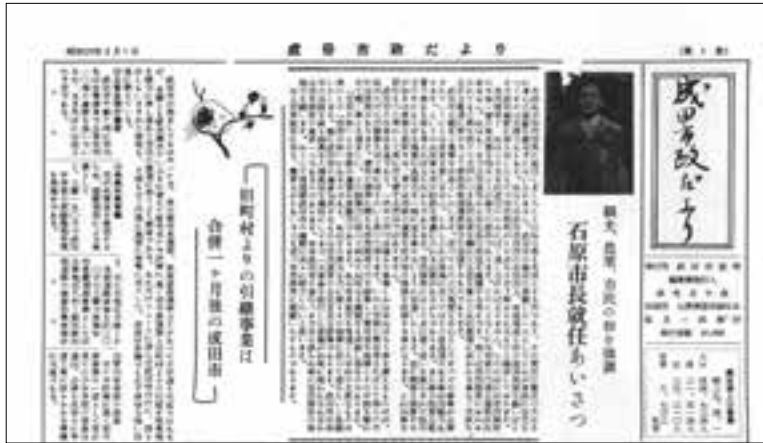


広報なりたで振り返る

# あの日、あの時

## 第1回 広報なりたが創刊

市のさまざまな情報を発信している広報なりた。当時の出来事や取り組みが記された紙面からはその時代のまちの空気が伝わってきます。ここでは、これまでに発行された広報なりたを通して、まちの歩みを振り返ります。



昭和29年5月に発行の「成田市政だより」第1号



題字が変わって初めて発行された「広報なりた」



題字変更を報じる昭和46年3月15日号

今回は、広報なりたの歩みをたどります。昭和29年3月の市制施行から間もない同年5月、「広報なりた」の前身となる「成田市政だより」が初めて発行されました。発行部数は1万部で、タブロイド判2ページという紙面でした。その後、昭和46年4月に題字を「広報なりた」へ変更。昭和63年4月からは、現在と同じA4判に生まれ変わりました。

題字変更の予告が載ったのは、昭和46年3月15日号のこと。「皆さんに、より親しまれ、暮らしの役に立つ広報紙を

目指して」。そんな思いと共に、新たな題字への変更を紙面で報じました。

また、昭和30年4月には「広報しもふさ(当時は下総町広報)」,同年9月には「広報たいえい(当時は大栄町広報)」が創刊。平成18年3月の合併までに、「広報しもふさ」は430号、「広報たいえい」は470号を重ね、まちの歩みを伝え続けました。

創刊から約70年。時代とともに形を変えながら、「広報なりた」はこれからも皆さんの元へ情報を届け続けます。

令和8年4月15日号 No.1553



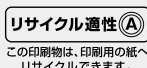
成田市のホームページ  
<https://www.city.narita.chiba.jp>

\*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

\*本紙は4月6日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

### 編集後記

桜が散りゆき、日常の疲れや忙しさを感じるこの季節。私もなんとなく心に余裕がなくなることがあります。この間、足早に通勤路を歩いていると、目に入ったのは足元に広がる桜の花びら。道路いっぱい広がるピンクのカーペットのような光景に、思わず気持ちが落ち着きました。環境の変化で慌ただしくなりがちなこの時期でも、こうした小さな幸せを日々の中で見つけながら、自分のペースで過ごしていきたいものです。



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。